



TOKYO MARATHON 2021

2022年3月6日(日)

車いすエリート選手発表資料

車いす招待選手(男子)
車いす招待選手(女子)
車いすエリート選手(男子)
車いすエリート選手(女子)

2022年2月18日(金) 16:00 発表

一般財団法人東京マラソン財団



東京都



東京マラソン 2021 車いすエリート 募集要項

1. 大会名称 東京マラソン 2021 (英文名: Tokyo Marathon 2021)
兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ
兼 オレゴン 2022 世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会
兼 杭州 2022 アジア競技大会日本代表選手選考競技会
兼 マラソングランドチャンピオンシップチャレンジ
兼 アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズ XIV
2. 主 催 一般財団法人東京マラソン財団
3. 共 催 公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都、読売新聞社、日本テレビ放送網、フジテレビジョン、産経新聞社、東京新聞
4. 後 援 スポーツ庁、国土交通省、観光庁、特別区長会、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、東京商工会議所、公益社団法人東京都医師会、公益財団法人東京防災救急協会、東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会、公益社団法人東京都看護協会、公益財団法人東京観光財団、東京都町会連合会、東京都商店街振興組合連合会、東京都商店街連合会、公益財団法人東京都体育協会、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会、報知新聞社、ラジオ日本、サンケイスポーツ、夕刊フジ、ニッポン放送、東京中日スポーツ
5. 主 管 公益財団法人東京陸上競技協会
6. 運営協力 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会
7. 特別協賛 東京地下鉄株式会社
8. 日 程 2022年3月6日(日) 9:05 スタート
9. コー ス 東京マラソンコース(日本陸上競技連盟・ワールドアスレティックス / AIMS 公認コース)
東京都庁～水道橋～上野広小路～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～田町～日比谷～東京駅前・行幸通り
10. 参加資格 (1) 次の①・②・③の条件を満たす競技者
① 大会当日(2022年3月6日)現在満19歳以上の者
② 2021年度日本パラ陸上競技連盟登録競技者かつ2021年 International Paralympic Committee 登録を大会当日までに完了した者で、World Para Athletics 国際クラス T53・T54 でクラスステイタス R または C を保持している者。
③ World Para Athletics 公認大会で、2018年3月1日以降申込期日までに男子 1時間50分以内、女子 2時間00分以内の公認記録を有する者
(2) 主催者または日本パラ陸上競技連盟が推薦し招待する海外・国内の競技者
11. 対象クラス T53/T54 (World Para Athletics 国際クラスに準ずる。なお、今大会ではクラス分けは行わない。)
12. 競技規則 World Para Athletics 競技規則(大会開催日に適用される最新の World Para Athletics 競技規則)及び本大会規定による。なお、World Para Athletics の規則により、ドーピング検査を実施する。また、参加する全ての選手に World Para Athletics 競技規則の広告に関する規程が適用される。
13. 定 員 男女計 30 人(招待選手含む)
14. 参 加 料 23,300 円 (PCR 検査費用・事務手数料、消費税込み)
※参加料の振込みについては、出場決定通知以降に別途案内。
15. 参加申込 (1) 期間 2021年12月14日(火)から2022年1月7日(金)17:00 必着
(2) 方法 氏名、フリガナ、生年月日、所属名を記載し、elite2021@tokyo42195.org へ「車いすエリート参加希望」というタイトルで電子メールにより連絡すること。追ってエントリーフォームを返信する。
16. 出場者決定 2022年1月17日(月)以降、通知する。

17. 表彰 「東京マラソン 2021 車いすマラソン」の総合成績で男女第1位から第8位を表彰する。

18. 賞金 1位 2,000,000円、2位 1,000,000円、3位 700,000円、4位 350,000円、5位 250,000円、
6位 160,000円、7位 120,000円、8位 60,000円
世界記録 1,000,000円 (男女1位のみ)
日本記録 500,000円 (男女国内1位のみ)
大会記録 200,000円 (男女1位のみ)
大会記録更新スプリットタイムボーナス (男女)
1位 150,000円 2位 100,000円 3位 50,000円
※ 賞金対象は、World Para Athletics 登録者で、国際クラス (T53・T54) を保持している者。
※ 金額はいずれも税込み。

19. 選手受付 2022年3月5日(土) 午前中(予定) 京王プラザホテル (大会当日は、受付を行わない。)
※選手受付時間は午前中(予定)に行うので注意すること。
※エリート選手は、大会前のドーピング検査の対象となる場合があることから、受付は選手本人が行うこと。

20. テクニカルミーティング
2022年3月5日(土) 午後(予定) 実施方法を含め、別途参加案内にて通知予定。

21. 個人情報の取り扱いについて
主催者及び日本パラ陸上競技連盟は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、医療救護、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係各団体からのサービス提供、記録発表(ランキング等)に利用する。また、主催者および日本パラ陸上競技連盟もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をすることがある。

23. ドーピング・コントロール

- (1) 本競技会は、ワールドアスレティックス アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。
- (2) TUE申請について
禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ (<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ (<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。
- (3) 競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。
- (4) 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
- (5) 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト (<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること(注意:2020年12月末までに日本陸連に18歳未満競技者親権者同意書を提出している場合でも、検査時に18歳未満であればJADAに当該同意書を提出すること)。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
- (6) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- (7) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。

- (8) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

22. その他

- (1) 参加にあたっては、本大会要項並びに各種規約（「エントリー規約」及びに「感染症予防対策等に関する規約」等）を確認のこと (<https://www.marathon.tokyo/2021/about/outline/>)。
- (2) 主催者による健康検査は行わない。各自の責任において最良の健康状態で参加すること。なお、受付時に主催者が指定する PRC 検査を実施する。主催者が指定する PCR 検査で陽性判定を受けた場合は参加することができない。また大会当日、スタートエリアにおいて検温を実施し、主催者が定めた体温以上の場合、大会係員の指示に従うこと。
- (3) 競技者が大会参加中に被った傷害または疾病に対しては、応急処置までを行う。
- (4) 大会出場中の映像・写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属するものとする。
- (5) 賞金の支払い方法等は、別途定める支払規定による。
- (6) 本大会は国内の関連するすべての法令を遵守し実施する。

東京マラソン2021 車いすレース 競技規則

1. 本大会は、World Para Athletics 競技規則（大会開催日に適用となる最新の World Para Athletics 競技規則）及び大会規定により実施する。
2. 全ての選手は、衣類及び車いすについて、World Para Athletics 競技規則の広告に関する規程を遵守しなければならない。
3. 競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
4. 本大会では、性別の異なる選手の背後を5m以内の距離で追走する行為（ドラフティング）を禁止する。また、エンジンのついた車両あるいは自転車の後ろを走行しドラフティングすることも禁止する。
5. 競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
6. 競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。ヘルメットは外殻が固く、保護性に優れ、国際安全基準を満たしていなければならない。
7. 競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。競技役員以外の者から助力を受けた場合は、失格とすることがある。
8. 競技中における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可する。
9. 競技者は、走行中、医師及び競技役員から競技中止を命ぜられたときは、直ちに競技を中止しなければならない。
10. 競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。
11. 競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面またはトラックに接触しないようにしなくてはならない。
12. クラスについては、別紙の国際クラス分け表による。
13. 本大会では、ドーピング検査を実施する。
14. 関門の制限時間を次のとおり設ける。

4.9km 地点	20分00秒
9.5km 地点	35分00秒
10.7km 地点	40分00秒*
21.0km 地点	50分00秒
29.2km 地点	1時間35分00秒
フィニッシュ地点	2時間10分00秒

*9.5kmは、車いす10km レース制限時間。車いすマラソンもこの時間を超えてレース続行はできない。
15. 給水所を次の通り設ける。

5km、7km、10km、12km、15km、17km、22km、25km、27km、30km、32km、35km、38km、40km地点付近

※ 詳細は、オフィシャルプログラムに記載する。
16. 車いすについては、次のとおりとする。
 - (1) 車いすは2つの大きな車輪と1つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。
 - (2) 車いすのフレームまたはその他付属品の一部は、前輪のハブを超えて前方に伸びたり、後輪（タイヤを含む）の最後の垂直面を越えて後方に伸びてはならない。さらに、フレームの幅とその取り付け部分はプッシュリムの傾斜面よりも広くなってはならない。車いすフレーム底部の地面からの高さは50cm以内とする。
 - (3) 後輪、前輪の最大直径は空気を充填したタイヤを含めて、後輪70cm・前輪50cm以下とする。
 - (4) 各大輪には特殊仕様ではない円形のプッシュリムを1つずつつけることができる。
 - (5) 一般的な主旨に反する改造を禁じ、競技者のいかなる身体の一部がプッシュリムや車輪に縛り付けられてはならない。
 - (6) 電動車いすおよび車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーを取り付けた車いすを使用してはならない。
 - (7) ミラーの使用を禁止する。
 - (8) 機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認められる。競技者は前輪を手動で左右に動かすことができないなければならない。
 - (9) フェアリング等の使用または空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。
 - (10) 車いすは招集所で測定・検査され、検査された車いすは競技開始前に競技区域外に持ち出してはならない。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前または終了後に競技役員が再検査することがある。
 - (11) 前述に限らず、競技規則を満たす車いすの準備は競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。
 - (12) 車いすのフレームまたは競技者に取り付けられる装置は、規則7.4d（助力）に準拠し、競技者に不当なアドバンテージを提供する物理的または技術的な動作または行動、そして競技エリア内にて通信機能があるデバイスの使用を禁じる。GPS機能の付いたスピードメーターは意思疎通機能がなければ持ち込んでもよい。

【別紙】国際クラス分け表

T53

このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋または下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニックを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がないため体幹は膝から離れて起きる；駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベル T1-7 と同等の活動制限がある。

T54

このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。

車いす上で身体を起き上がり、回旋する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。脊髄損傷の神経残存レベル T8-S4 レベルと同等の活動制限がある。

- (※) 上記は、日本版クラス分けマニュアルから抜粋したものであり内容が一部異なる場合があります。
詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照ください。
<https://jaafd.org/contents/code/committee3>

車いすマラソンレースディレクター
副島 正純

「東京マラソン2021」の車いすエリートレースは展開予想が難しいというのが正直なところ。どんなレースになるか、誰が勝つか予想が付きにくい分、楽しみなレースでもあります。

コロナ禍による延期などもあり、2021年はAbbottWMMシリーズの各レース日程が昨年9月下旬から11月にかけて集中する異例の連戦となり、さらに、9月5日には東京パラリンピックのマラソンが、11月21日には世界新記録と日本新記録が誕生した大分国際車いすマラソンも開催されました。「東京マラソン2021」も当初は10月17日に開催予定でしたが、2022年3月6日に延期されたことで、今年は約2年ぶりの開催となります。

また、例年とは異なり、感染症対策での隔離など渡航によるストレスも大きいこともあって、今大会では海外選手の招へいが難航しました。最終的に、日本勢が8割以上を占める状況です。

これまでは海外の強豪選手たちを軸にレースが動くことが多く、今年のレース展開が予想しにくいと言うのはそういった理由からです。

もう一つ考慮する点として、今年は道路工事の影響などによりコースの数カ所が変更されています。とくにスタート直後に左折が度続くのは大きな変化です。一般的に、コーナーの手前では減速を強いられ、曲がってからの立ち上がりには加速が必要になります。スタートダッシュが速い選手はコーナーの立ち上がりも速いので、コーナーが連続している新コースでは、ここで選手間の差がついてしまうことが考えられます。スタートからレースが動く可能性が大いにあります。

海外選手を上手くまき込み、日本選手を中心に展開ができれば、日本選手にも大きなチャンスがあるのではないかと期待しています。コロナ禍で、レース自体が少ない今、特に東京パラリンピック出場を逃した選手には東京マラソンへ向けてしっかり調整し、結果を追求してほしいと思っています。

■男子は、日本勢にもチャンス

ではまず、男子のレースからみてみましょう。海外招待選手はマルセル・フグ(スイス)とジョンボーイ・スミス(イギリス)の二人で、ともに東京パラリンピックのマラソンにも出場しています。フグはリオに続き、スミスは初出場で10位に入りました。二人は持ち味が異なり、フグは積極的に先頭でレースを作るタイプ、スミスは集団について走るという特徴があります。日本からはただ一人、鈴木朋樹(トヨタ自動車)が東京パラリンピックのマラソンに初出場。初出場し7位入賞。そして11月の大分国際車いすマラソンでは、22年ぶりに世界新記録を更新したマルセルに最後は離されてしまいましたが、鈴木も日本新記録を更新しています。勢いのある鈴木がこの東京マラソンでどんな展開をつくるのかにも注目しています。

さて、東京マラソン2021はコース変更もあり、スタート直後からレースが動く可能性があります。持ちタイムや持ち味から言って、フグと鈴木がリードして逃げるのが考えられます。他の選手はここでトップ二人を逃がさないように、食らいつくようにしなければなりません。ここで離れてしまうと、追いつくのはかなり厳しくなりますから、日本選手には新しいコースのスタート対策をしっかり準備してほしいです。

もし離されたとしても落ち着いて、先頭にできるだけ近い位置で集団を作りリズムを保ちたいところです。持ちタイムからいって、第2集団はスミスや吉田竜太あたりが中心になるかと思います。そこに、西田宗城や渡辺勝がどう絡むか。実績などから考えると、集団は2つか3つに分れるのではないかと予想しています。

東京マラソンのコースは高低差が少なく、昨年は鈴木が8km付近から独走して1時間21分52秒の大会新で優勝しました。この実績から、「好タイムが出るコース」と他の選手も意識してくれれば、高速レースも期待できるでしょう。今年も、昨年の優勝タイムを超えるようなタイムでレースが展開されると嬉しいです。

先ほども言いましたが、特に東京パラリンピックに出場できなかった選手にとっては大きなチャンスなので、この機会を生かしてほしいです。次のパリ・パラリンピックまではもう3年を切っています。今大会で、絶対王者のフグや東京パラ出場で経験値の増した鈴木やスミスに勝てれば、大きなアピールになりますし、もちろん、大きな自信をつかめます。結果を求めて、積極的に挑んでほしいです。

■女子も、見応えあるレースに期待

女子の招待選手は国内のみとなりました。喜納翼(琉球スポーツサポート)は東京パラリンピックに初出場しましたが、1時間42分33秒で7位入賞。悔しさもあると思うので、今大会は新たな気持ちでチャレンジしてほしいです。8大会目のパラリンピック出場を果たした土田和歌子(ウィルレイズ)はトライアスロンとマラソンの2競技に出場しました。1週間で2レースと疲労を残している可能性が高い中で、マラソンでは自己記録に迫る1時間38分32秒で4位に入りました。この東京マラソンでもベテランならではの走りに期待しています。

女子のマラソン選手は日本ではとても少ないので、「挑戦してみたい」と思える選手が増えるような、刺激ある熱いレースを期待しています。

■レース前半に仕掛け、スプリントボーナス

昨年初めて実施した「スプリントボーナスポイント」ですが、今年はAbbottWMMポイントとしてだけではなく、東京マラソン独自の仕掛けとして実施します。

昨年は後半の37km地点というレース終盤に設定しましたが、今年は早い段階でレースに刺激を入れたいと思い、前半13km地点にあたる日本橋室町付近に設定しました。東京マラソンはコースの特性上、序盤が下り基調のため高速での展開になりやすく、10km辺りで一度、疲労が出やすいコースとなっています。13km地点での仕掛けによってギアを入れ替えることで、「前を追っていこう」「食らいついていこう」といったチャレンジの意識をもう一度高め、レース展開が変わるきっかけにもなればと考えています。今年は「400mの目標タイム」にチャレンジします。男女それぞれのマラソン世界記録(2021年10月 現在)から割り出した400mのラップタイムを目標タイムに設定し、このタイムを切った選手全員に賞金を授与します。目標タイムは男子が35秒、女子は45秒です。

ただし、コース事情から走行区間は400mでなく、約380mと短くなりましたので、選手たちには積極的に狙ってほしいです。

■選手層の広がり期待

東京マラソンの車いすの部の参加資格は障がいクラスの「T53、T54」となっていて、毎年招待選手はより障がいのレベルの軽いT54の選手が中心となっています。

しかし、幅広い選手にも挑戦して車いすマラソンの可能性を見せてほしいなと思い、今年は東京パラリンピックでT52クラスのトラック種目で活躍した佐藤友祈(モリサワ)出場を依頼しました。エリート招待選手ではなく、一般招待選手なので上位に入っても表彰対象とはなりませんでしたが快諾してくれました。

T52クラスは手にも障がいがあるなど障がいのレベルは重くなります。佐藤はマラソンの経験もあり、東京マラソン出場資格である「マラソン2時間以内」の公認記録も持っています。また、東京パラリンピックでは400mと1500mに出場し2冠を達成した実力者です。

1時間20分台の記録をもつT54の選手たちとは少しタイム差はありますが、いいレースを見せてくれると思います。またT54の選手たちと競り合い、上回る順位で走ってくれたら、面白いですね。

東京マラソンは参加資格が厳しく、「敷居の高い大会」という声も聞こえていますが、「2時間以内をクリアしていれば出場は可能」ですから、ぜひ多くの車いすランナーにチャレンジしてほしいし、目標や刺激となる大会であってほしいと思っています。佐藤の出場によって、そんなメッセージも伝えられたらと思います。

雨や風など天候もレース展開を左右する大きなポイントになりますが、レース当日の天候は選手にはコントロールできません。出場するすべての選手には、練習内容や体調の調整など自分でコントロールできることに集中し、当日は自信をもってスタートラインに並んでほしいです。そして、ワクワクするようなレースを見せてくれることを大いに期待しています。

車いす招待選手(男子)

INVITED WHEELCHAIR ATHLETES (MEN)

※年齢は大会当日(2022年3月6日)のものとなります。

※Age as of March 6, 2022


※国内選手情報については、2022年2月4日(金)に発表しております。

※The following Japanese Athletes were previously announced on February 4, 2022.

プロフィール Biographies

	No.1001	所属／千葉・トヨタ自動車	生年月日／Date of Birth 14 Jun. 1994
		名前 鈴木 朋樹	
	Name SUZUKI, Tomoki		
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race 順位/Place	
自己最高記録 Personal Best	1:18:37／2021 大分国際 (Oita) 2		
備考／Remark	2020 東京パラリンピック (Tokyo Paralympic Games) 1:30:45 7th		

	No.1002	国籍／スイス・SUI	生年月日／Date of Birth 16 Jan. 1986
		名前 マルセル・フグ	
	Name HUG, Marcel		
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race 順位/Place	
自己最高記録 Personal Best	1:17:47／2021 大分国際 (Oita) 1		
備考／Remark	2020 東京パラリンピック (Tokyo Paralympic Games) 1:24:02 1st		

	No.1003	国籍／イギリス・GBR	生年月日／Date of Birth 27 Nov. 1989
		名前 ジョンボーイ・スミス	
	Name SMITH, Johnboy		
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race 順位/Place	
自己最高記録 Personal Best	1:31:49／2019 ベルリン (Berlin) 7		
備考／Remark	2020 東京パラリンピック (Tokyo Paralympic Games) 1:32:25 10th		

*は非公認記録ですがワールドパラアスレチックス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。

*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics , but are not official record.

	No.1004	所属／東京・SUS株式会社	生年月日／Date of Birth 28 Sep. 1981 年齢／Age 40
		名前 吉田 竜太 Name YOSHIDA, Ryota	
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race 順位/Place 1:24:02／2019 大分国際 (Oita) 8	
	自己最高記録 Personal Best	1:23:18*／2017 ボストン (Boston) 11	
備考／Remark	2020 東京(Tokyo) 1:32:42 9th		

	No.1005	所属／大阪・奥アンツーカ	生年月日／Date of Birth 27 Mar. 1978 年齢／Age 43
		名前 吉田 高志 Name YOSHIDA, Takashi	
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race 順位/Place 1:31:02／2020 東京 (Tokyo) 7	
	自己最高記録 Personal Best	1:24:04／2019 大分国際 (Oita) 12	
備考／Remark	2021 大分国際(Oita) 1:35:10 7th		

	No.1006	所属／千葉・プーマジャパン	生年月日／Date of Birth 15 Jan. 1979 年齢／Age 43
		名前 樋口 政幸 Name HIGUCHI, Masayuki	
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race 順位/Place 1:31:02／2020 東京 (Tokyo) 8	
	自己最高記録 Personal Best	1:22:02／2011 オンシンゲン (Switzerland) 1	
備考／Remark	2020 大分国際(Oita) 1:33:49 7th		

*は非公認記録ですがワールドパラアスレチックス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。

*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics , but are not official record.

車いす招待選手(女子)

INVITED WHEELCHAIR ATHLETES (WOMEN)

※年齢は大会当日(2022年3月6日)のものとなります。

※Age as of March 6, 2022

※国内選手情報については、2022年2月4日(金)に発表しております。

※The following Japanese Athletes were previously announced on February 4, 2022.

プロフィール Biographies

	No.2001	所属／沖縄・琉球スポーツサポート	生年月日／Date of Birth 18 May. 1990	
		名前 喜納 翼 Name KINA, Tsubasa		年齢／Age 31
	資格記録 Qualified Time	Time 1:40:13／2021	大会名/Race 大分国際 (Oita)	順位/Place 1
	自己最高記録 Personal Best	Time 1:35:50／2019	大会名/Race 大分国際 (Oita) ※日本記録(NR)	順位/Place 2
備考／Remark	2020 東京パラリンピック(Tokyo Paralympic Games) 1:42:33 7th			

	No.2002	所属／東京・ウィルレイズ	生年月日／Date of Birth 15 Oct. 1974	
		名前 土田 和歌子 Name TSUCHIDA, Wakako		年齢／Age 47
	資格記録 Qualified Time	Time 1:38:32／2020	大会名/Race 東京五輪(Paralympic Games)	順位/Place 4
	自己最高記録 Personal Best	Time 1:34:06*	大会名/Race ボストン(Boston)	順位/Place 1
備考／Remark	2020 大分国際(Oita) 1:39:42 1st			

*は非公認記録ですがワールドパラアスレチックス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。

*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics , but are not official record.

車いすエリート選手(男子)リスト

ELITE WHEELCHAIR ATHLETES (MEN)

No.	氏名 Name	国籍・所属 Nationality・Club	年齢 Age	出場資格記録 Qualified Time	自己記録 Personal Best
1001	鈴木 朋樹	SUZUKI, Tomoki JPN トヨタ自動車	27	1:18:37 2021 大分国際	1:18:37 (NR)
1002	マルセル・フグ	HUG, Marcel SUI スイス	36	1:17:47 2021 大分国際	1:17:47 (WR)
1003	ジョンボーイ・スミス	SMITH, Johnboy GBR イギリス	32	1:31:49 2019 ベルリン	1:25:45
1004	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota JPN SUS株式会社	40	1:24:02 2019 大分国際	1:23:18
1005	吉田 高志	YOSHIDA, Takashi JPN 奥アンツーカ	43	1:31:02 2020 東京マラソン	1:24:04
1006	樋口 政幸	HIGUCHI, Masayuki JPN プーマジャパン	43	1:31:02 2020 東京マラソン	1:22:02
1101	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki JPN バカラバシフィック	37	1:27:19 2021 大分国際	1:20:28
1102	渡辺 勝	WATANABE, Sho JPN 凸版印刷株式会社	30	1:29:23 2021 大分国際	1:24:00
1103	洞島 正純	SOEJIMA, Masazumi JPN ソシオSOEJIMA	51	1:29:23 2021 大分国際	1:18:50
1104	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota JPN Yahoo!	47	1:29:38 2021 大分国際	1:20:52
1105	河室 隆一	KAWAMURO, Ryuichi JPN ホンダアスリートクラブ	48	1:35:51 2021 大分国際	1:29:35
1106	松永 仁志	MATSUNAGA, Hitoshi JPN GROPSINCERITE WORLD-AC	49	1:37:02 2021 大分国際	1:37:02
1107	武村 浩生	TAKEMURA, Koki JPN Yahoo!	34	1:42:17 2021 大分国際	1:35:53
1108	佐藤 健	SATO, Ken JPN コロンビアスポーツウェアジャパン	38	1:45:42 2021 大分国際	1:39:56
1109	廣道 純	HIROMICHI, Jun JPN EY Japan	48	1:35:41 2019 大分国際	1:23:23
1110	大津 圭介	OTSU, Keisuke JPN 福岡県庁	54	1:36:05 2019 大分国際	1:36:05
1111	安岡 チョーク	YASUOKA, Choke JPN リーフラス	49	1:38:05 2018 大分国際	1:22:17
1112	岸澤 宏樹	KISHIZAWA, Hiroki JPN 新日本住設	25	0:47:12 2021 大分国際 (ハーフ)	0:47:12

車いすエリート選手(女子)リスト

ELITE WHEELCHAIR ATHLETES (WOMEN)

No.	氏名 Name	国籍・所属 Nationality・Club	年齢 Age	出場資格記録 Qualified Time	自己記録 Personal Best
2001	喜納 翼	KINA, Tsubasa JPN 琉球スポーツサポート	31	1:40:13 2021 大分国際	1:35:50 (NR)
2002	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako JPN ウィルレイズ	47	1:38:32 Tokyo 2020 Paralympic	1:34:06

*は非公認記録ですがワールドパラアスレチックス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。

*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics , but are not official record.

車いすエリート(男子)出場選手数

TOTAL NUMBER OF ELITE WHEELCHAIR ATHLETES (MEN)

車いすエリート男子	18名
Total Number of Elite Wheelchair Athletes	18名
うち海外選手	2名
International Invited Wheelchair Athletes	
うち国内招待選手	4名
Japanese Invited Wheelchair Athletes	

車いすエリート(女子)出場選手数

TOTAL NUMBER OF ELITE WHEELCHAIR ATHLETES (WOMEN)

車いすエリート女子	2名
Total Number of Elite Wheelchair Athletes	2名
うち海外選手	0名
International Invited Wheelchair Athletes	
うち国内招待選手	2名
Japanese Invited Wheelchair Athletes	